



HEIWA PAPER

## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 平和紙業株式会社

コード番号 9929 URL <http://www.heiwapaper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小島 勝正

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長

(氏名) 浦戸 晴夫

TEL 03-3206-8501

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,932	△0.4	16	△31.0	43	7.1	22	—
25年3月期第1四半期	4,954	4.5	24	199.3	40	66.0	△263	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 13百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △128百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	2.23	—
25年3月期第1四半期	△26.67	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	17,044	7,517	44.1
25年3月期	17,048	7,552	44.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 7,517百万円 25年3月期 7,552百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,070	1.6	100	2.0	134	5.5	70	—	7.09
通期	20,560	1.0	262	1.2	307	3.7	170	—	17.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	10,116,917 株	25年3月期	10,116,917 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	250,647 株	25年3月期	250,647 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	9,866,270 株	25年3月期1Q	9,867,842 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却を目指す現政権の積極的な経済政策が導入された結果、昨年末を底にして緩やかに回復しています。雇用及び所得環境は依然厳しいものの、株式市場の回復による資産効果の影響等で消費者の購買意欲が上向き、個人消費は底堅く推移いたしました。この間、企業収益は円安の進展や生産活動の回復に伴い、大企業の中でも特に製造業を中心に改善しています。しかし、諸外国の経済回復ペースは鈍く、輸出の増勢がまだまだ強まってこない等景気回復のテンポは依然緩やかなものに留まっています。

紙業界におきましては、洋紙・板紙の国内出荷量は前年同期実績を上回りました。円安による輸入紙の減少と輸出の大幅な伸びによって、印刷用紙の需給ギャップは確実に好転しつつあります。輸入木材チップや重油等の原材料価格が上昇する中で、製紙メーカー各社は独自に減産等のコスト削減策を講じてきました。しかし、ここにきて国内市場の競争環境が改善したのを受け、国内各社がこの3月に表明した出荷価格の値上げも徐々に市場へと浸透しつつあります。商業印刷分野の主要品種であるカタログ・パンフレット向け塗工印刷用紙は、値上げ前の駆け込み需要もあり、ほぼ一年ぶりに前年同期実績比プラスで推移いたしました。

このような環境の中で当社グループは新3ヶ年計画の2年目を迎え、持てるサービス力を一枚の紙に結集してお客様のニーズに応えようと全社一丸となった販売努力を続け、高級印刷紙とベーシックペーパーは前年同期実績を上回ることができました。しかしながら、ファンシーペーパー等上記以外の品目においては、前年同期実績を上回ることができませんでした。

その結果、売上高は49億32百万円（前年同期比0.4%減）となりました。利益面では経常利益は43百万円（前年同期比7.1%増）、四半期純利益は22百万円（前年同期は四半期純損失2億63百万円）となりました。

#### <当社の商品別の概況>

当社グループは、和洋紙の販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであり、当社の和洋紙卸売業の売上高は連結売上高の90%超を占めるため、当社の商品別の概況を記載しております。

品目別	前第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンシーペーパー	1,248	26.5	1,227	26.4	△1.7
ファインボード	553	11.7	545	11.7	△1.4
高級印刷紙	1,113	23.6	1,151	24.7	3.4
ベーシックペーパー	1,191	25.3	1,208	26.0	1.5
技術紙	509	10.8	435	9.4	△14.6
その他	96	2.1	85	1.8	△11.2
合計	4,712	100.0	4,654	100.0	△1.3

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

#### [ファンシーペーパー]

高価格帯に位置するファンシーペーパーは、書籍の装丁や美装パッケージの外貼り用途、さらには高級紙製品等への採用を目指して、装丁家やグラフィックデザイナー等の用紙決定者に継続してPR活動を実施しました。それにより、幅広い分野の製品に数多く採用されましたが、依然として制作コストの縮小化傾向が根強く数量を伸ばすことはできませんでした。

その結果、売上高は12億27百万円となり前年同期比1.7%の減少となりました。

#### [ファインボード]

商品の差別化や高級感にて訴求力のあるファインボードは、パール調加工紙を中心に色カード、色キャスト等がカタログ表紙、贈答品パッケージや書籍出版物のカバー等に幅広く採用されました。しかし一般白板紙への需要シフト等の影響で前年同期実績を上回ることが出来ませんでした。

その結果、売上高は5億45百万円となり前年同期比1.4%の減少となりました。

#### [高級印刷紙]

環境対応型商品を主力とした高級印刷紙は、印刷後の仕上り効果において優れた再現性が要求されるCD・DV

Dボックス、化粧品カタログ、カレンダー本文や環境報告書等の多様な用途への採用実績がありました。

その結果、売上高は11億51百万円となり前年同期比3.4%の増加となりました。

[ベーシックペーパー]

一般的な印刷物に幅広く使用されるベーシックペーパーは、塗工印刷用紙や情報用紙を中心にチラシ等の一般商業印刷物や菓の能書等の用途に数多くの採用がありました。また、各製紙メーカーによる出荷価格の値上げ表明を受けて、流通市場では一時的な需要増加も発生しました。

その結果、売上高は12億8百万円となり前年同期比1.5%の増加となりました。

[技術紙]

高い機能性と多様な付加価値を備えた技術紙は、これまで安定して需要のあった電飾パネル用途向けの合成紙や電子機器の製造用工程紙の販売が、例年に比べ減少したことから、技術紙全体に大きな影響を与えました。

その結果、売上高は4億35百万円となり前年同期比14.6%の減少となりました。

[その他]

トイレットペーパーやティッシュペーパーを中心とした家庭紙は、国内量販店が輸入紙の取り扱いを増やしたことや消費者層の買い控、製紙関連資材の減少もあり、売上が大きく減少しました。

その結果、売上高は85百万円となり前年同期比11.2%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4百万円減少して、170億44百万円となりました。主な要因は、商品は1億49百万円増加いたしましたが、現金及び預金74百万円、その他の流動資産47百万円、固定資産32百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて31百万円増加して、95億26百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金1億1百万円、短期借入金1億2百万円増加いたしましたが、未払法人税等57百万円、賞与引当金63百万円、退職給付引当金12百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて35百万円減少して、75億17百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定は7百万円増加いたしましたが、利益剰余金27百万円、その他有価証券評価差額金15百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、アベノミクスによる景況感改善の追い風を受けて消費者心理や所得環境が持ち直していくことが期待され、また、2014年度の消費税率引き上げ前の駆け込み需要も見込まれることから、個人消費や住宅投資は底堅く推移すると見られます。さらに円安効果で引き続き輸出が増加していくのに加え、企業収益の改善が設備投資を活発化させ、震災復興事業等の公共投資も景気の下支えに広く寄与することが予想されるため、わが国経済は2013年度後半に向け比較的堅調な成長を遂げるものと思われま。

紙業界におきましては国内景気のプラス成長が見込まれるものの、購買層におけるデフレ傾向が根強いこともあって、依然、厳しい局面が続くものと予想されます。紙器用白板紙は、今後も箱サイズの小型化や軟包材へのシフト等が続くと見られ、また印刷用紙においては、企業の継続的なコスト削減の影響から広告宣伝費が抑制される傾向にあるのに加え、制作物の部数減やサイズの縮小化、電子媒体へのシフト、用紙の薄物化やグレードダウン等の流れは今後も続くと予想されます。

当社グループといたしましては、一昨年度に策定した新3ヶ年計画の個別具体的な戦略方針に沿って、様々な角度から事業内容の刷新策をそれぞれの部門で着実に実行してまいり所存です。本業である紙流通の原点に立ち戻り、お客様各位にご不便をおかけしないための供給体制を、全社一丸となって確保・維持してまいります。従来からの取扱商品のさらなる拡充、顧客ニーズに沿った効果的な用紙提案、常備在庫品の安定供給および物流面での対応はもとより、マーケティング機能の強化策等を通じて、あらゆる面でお客様へのサービス向上と自社の業績拡大を図ってまいります。

<平成26年3月期連結業績予想>

連結売上高	20,560百万円	(前期比 1.0%増収)
連結営業利益	262百万円	(同 1.2%増益)
連結経常利益	307百万円	(同 3.7%増益)
連結当期純利益	170百万円	( — )

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,473,668	2,399,120
受取手形及び売掛金	7,227,826	7,208,694
商品	3,497,737	3,647,377
貯蔵品	67,633	67,001
その他	201,679	176,723
貸倒引当金	△32,174	△34,811
流動資産合計	13,436,370	13,464,105
固定資産		
有形固定資産	1,068,318	1,059,186
無形固定資産	126,003	109,460
投資その他の資産		
投資有価証券	1,687,060	1,658,994
その他	790,827	814,080
貸倒引当金	△59,776	△61,645
投資その他の資産合計	2,418,110	2,411,429
固定資産合計	3,612,432	3,580,077
資産合計	17,048,802	17,044,182

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,040,556	6,142,277
短期借入金	2,416,979	2,519,432
未払法人税等	63,219	5,383
賞与引当金	105,296	41,593
その他	233,511	247,006
流動負債合計	8,859,563	8,955,693
固定負債		
退職給付引当金	331,638	318,875
資産除去債務	77,813	78,206
その他	226,798	174,170
固定負債合計	636,250	571,252
負債合計	9,495,813	9,526,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	3,105,933	3,078,653
自己株式	△122,726	△122,726
株主資本合計	7,422,439	7,395,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128,389	112,611
為替換算調整勘定	2,160	9,466
その他の包括利益累計額合計	130,549	122,078
純資産合計	7,552,988	7,517,237
負債純資産合計	17,048,802	17,044,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,954,814	4,932,895
売上原価	3,994,595	3,983,931
売上総利益	960,219	948,963
販売費及び一般管理費	935,667	932,028
営業利益	24,552	16,935
営業外収益		
受取利息	1,781	2,852
受取配当金	10,826	15,099
受取賃貸料	5,475	5,475
その他	5,674	8,994
営業外収益合計	23,757	32,422
営業外費用		
支払利息	3,869	3,258
貸貸用資産減価償却費	2,093	1,698
その他	1,850	1,019
営業外費用合計	7,813	5,977
経常利益	40,495	43,380
特別損失		
固定資産除却損	14,793	178
投資有価証券売却損	103,300	—
投資有価証券評価損	188,326	—
特別損失合計	306,421	178
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△265,925	43,201
法人税、住民税及び事業税	2,078	1,917
法人税等調整額	△4,757	19,232
法人税等合計	△2,679	21,150
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△263,246	22,051
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△263,246	22,051

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△263,246	22,051
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	138,456	△15,777
為替換算調整勘定	△4,188	7,306
その他の包括利益合計	134,267	△8,471
四半期包括利益	△128,978	13,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△128,978	13,579

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。